

市政に関する一般質問通告一覧

平成30年第3回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時	質 問 議 員
6月19日(火)	午前10時30分～	1. 小栗佳仁(志民ネット)
	午後1時00分～	2. 竹内功治(日本維新の会・無所属連合)
		3. 岩田玲子(創造みらい半田)
		4. 中川健一(日本維新の会・無所属連合)
6月20日(水)	午前9時30分～	5. 久世孝宏(創造みらい半田)
	午後1時00分～	6. 山田清一(公明党)
		7. 山本佳代子(無所属)
		8. 加藤美幸(無所属)
		9. 山本半治(公明党)
6月21日(木)	午前9時30分～	10. 中村宗雄(創造みらい半田)

6月19日(火) 午前10時30分～

1. 4番議員 小栗佳仁(志民ネット) 【一問一答】

- 1 安全で美味しい学校給食について
 - (1) 安全な学校給食の提供について
 - ①食材の受け入れ検査の現状と改善について
 - ②食材への異物混入の現状と改善について
 - ③食中毒対策の現状と改善について
 - ④HACCP、ISOなどの導入について
 - ⑤安全な給食を目指す指標について
 - (2) 美味しい学校給食と食育について
 - ①旬の食材使用の現状と改善について
 - ②地元産食材の現状と改善について
 - ③調理方法の現状と改善について
 - ④食育の現状と改善について
 - ⑤美味しい給食指標の見える化について
 - (3) 学校給食センター建設に向けて
 - ①美味しい給食が提供できる設備について
 - ②アレルギー対応食の調理について
 - ③安全衛生管理のしやすい設備について

6月19日(火) 午後1時00分～

2. 2番議員 竹内 功治 (日本維新の会・無所属連合) 【一問一答】

1 LGBT(性的少数者)への支援体制について

(1) LGBTに対する基本的な考え方について

①半田市はLGBTへの支援に対して、どのような考え方で取組んでいるのか

(2) 教育現場における対応について

①LGBTの児童生徒に対するきめ細やかな対応・支援体制は出来ているのか

②相談しやすい環境づくりは出来ているのか

③教職員がLGBTへの理解を深める取組みは実施しているのか

(3) 半田市におけるLGBTへの支援体制について

①性別表記や性別記入の対応は行っているのか

②市民相談の対応はどのようになっているのか

③市職員がLGBTへの理解を深める取組みは実施しているのか

④パートナーシップ制度の導入など、LGBTへの支援体制の充実を考えるべきではないのか

3. 8番議員 岩田 玲子 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 高齢者の交通安全対策について

(1) 高齢者が被害者にならないための交通安全対策について

①高齢者が被害者となる交通事故の現状について

②半田市が行っている、高齢者が被害者となる交通事故対策の現状について

③高齢化とともに、高齢者の事故が更に増えていくと予想される中、新たな被害者を生まないための交通安全対策について

④高齢者が被害者にならないための警察との連携について

(2) 高齢者が加害者にならないための交通安全対策について

①高齢者が加害者となる交通事故の現状について

②半田市が行っている、高齢者が加害者となる交通事故対策の現状について

③高齢者が新たに加害者にならないための交通安全対策について

④高齢者が加害者にならないための警察との連携について

4. 1番議員 中川 健一 (日本維新の会・無所属連合) 【一問一答】

1 平成30年3月末で442億円の借金が平成40年に借金が874億円まで増えると言う公共施設等総合管理計画における長期財政の見通しが甘いので見直すべき

(1) 公共施設等総合管理計画P7では30年後2045年には人口が約5%減ると予測している。

ところが税収見通しを2015年決算ベース222億円で2045年も積算しているのは税収を過大に見積もっている

①平成27年度決算の市税額は222億円です。30年後に人口が5%減ると概算で11億円の市税収減になると予測されます。概算で、11億円×30年間÷2=165億円程度、過

大な税収見積もりと考えると思いますがいかがですか

- (2) 扶助費（福祉費用）における一般財源は平成 25 年から 27 年までの平均で毎年約 7,000 万円増となっている。一方で公共施設等総合管理計画 P 9 では、この 7,000 万円を地方消費税の交付増収分で対応出来るとあるが、その交付額が全く増えていない現状について

①現在も毎年増えている扶助費（福祉費用）は、地方消費税交付分以外の何を財源にして現在は予算化していますか

- (3) 公共施設等総合管理計画 P 15 では病院新設費用を約 248 億円と積算している。ところが現状は建設費等 65 億円増額の 313 億円、平成 46 年までの 15 年間で、繰出金約 13 億円増の見通しである

①公共施設等総合管理計画 P 30 で、平成 40 年に 874 億円となる借金は、病院新設費用増額のみを考慮するだけでも、概算 939 億円まで増えてしまいます。加えて繰出金増と税収見積もりを厳しくすると借金 1,000 億円越えも十分あり得る範囲と考えますがいかがですか

- (4) 公共施設等総合管理計画 P 32 では施設総量は現状を超えない範囲とする、とある。しかし公共施設の統廃合は、数値目標も無く、全て問題先送り

①40 年後の 2055 年には人口は 10% 減の 105,400 人と予測されています。公共施設も 10% 減を目標とした統廃合を計画すべきと考えますがいかがでしょうか

- 2 半田市の子育て支援策の現状で、年間 6,000 万円もの税金を投資して、学童保育の保育料を一律値下げしても、半田市の子育て支援策がバラ色になるとは思えない

- (1) 学童保育料を小 1～3 年生が月額 9,000 円、小 4～6 年生が月額 5,000 円へ一律値下げする政策はどのような意味と効果があるか

①小 1～3 年生について、大府市と同額の月額 5,000 円ではなく、知多市より 500 円安い 9,000 円とした意図は何ですか

②保育料を月額 9,000 円へ値下げしたとしても、おやつ代と教材代、年会費を含めると月額約 13,000 円以上もの費用がかかります。保育料値下げの政策効果は何ですか

- (2) 半田市の学童保育制度の問題点、隠れ待機児童がいる、サービス提供時間が短いことなど、保育料を値下げする前にやるべきことがたくさんある

①人口 8.9 万人の大府市には学童保育所の登録者数は 1,314 人（H29. 4. 1）です。半田市と同じ人口 12 万人とすると、学童保育所の登録者数は 1,771 人となります。ところが半田市の学童保育所の登録者数はわずか 792 人（H29. 4. 1）です。概算 1,000 人も待機児童がいると想定されます。まずは学童保育所増設が優先されるべきと考えますがいかがですか

②名古屋市隣接の東海市、大府市、少し離れた知多市の学童保育所は午後 7 時までがサービス提供時間です。ところがその 3 市より遠い半田市での多くは午後 6 時 30 分まで、30 分も早くサービス終了です。9 時～午後 6 時で名古屋市内で働いている保護者が午後 6 時 30 分までに半田市内へ帰宅するのは困難と考えますがどうですか

- (3) 学童保育料の値下げをする前に、学童保育以外の子育て支援策、児童センターの有効活用、児童センターへの市役所 O B の再就職禁止や半田市立保育園の運動会平日開催を土日へ変更するなど、費用があまりかからずに実施可能な優先してやるべき子育て支援策がたくさんある

- ①半田市内 13 小学校のうち、6 小学校区には児童センターがありません。行政サービスとして不公平とも言えます。午後 5 時頃まで働く保護者であれば、午後 6 時まで居場所を提供してくれる児童センターは十分役に立ちます。学童保育料の一律値下げではなく、児童センターが無い小学校区内に児童センターを設置することを優先すべきと考えますがいかがですか
- ②半田市の児童センターを今より 30 分間だけ延長し午後 6 時 30 分までとすれば、利用者側から見れば、学童保育と同様のサービス時間で、無料で、安心な子供の居場所を得ることが出来ます。また、学校内空き教室へ児童センターを移転設置すれば放課後子ども教室との連携もできるはずで、低所得者対策であれば、学童保育の一律値下げよりも、児童センターの拡充の方が政策効果が高いと考えますがいかがですか
- (4) 半田市全体の予算の中での学童保育料を一律値下げすることの優先順位は妥当か
- ①学童保育料の一律値下げは、やらないよりはやった方が良く、私も考えます。しかし平成 40 年には半田市の借金額が概算で 939 億円（中川試算）となると予測される中、約 6,000 万円を毎年投資する余裕はありますか

6月20日（水）午前9時30分～

5. 22番議員 久世孝宏（創造みらい半田） 【一問一答】

1 市長の政治姿勢について

(1) 半田病院の「早期」建て替えについて、市長の言動によって市民の市政に対する不信感を引き起こしていないか

①2月に公表された市長公約の進捗状況のうち、半田病院の「早期」建て替えについて、の実施方針を「公約通り」としています。市長選挙直後の議会での市長所信表明では、「耐震性に対する不安、最新の医療機器を導入するスペースの不足という現状の中、他の病院との競争力に不安が出てきていることから、1000年に一度あるかないかの津波や高潮に備えるために建設を遅らせるよりも、一刻も早く建設することが最も優先すべきことである」と述べていることと、建設地を変更し、開院が遅れることは、公約そのものも、実施方針も、公約通りではないと考えることが一般的な感覚だと思いますがどうですか

②病院の建設候補地の市民への説明を、市政懇談会で市民に説明を行ったが、変更したのなら最低限それと同格のことを行うことが必要な対応と考えますが、実施の予定がないのはなぜですか

③これらの対応は、市民の市政への不信感を引き起こすと私は考えますが、市長はどのような感じですか

2 子育て支援の在り方について

(1) 子育て支援は手段であり、目的ではない

①半田市の子育て支援の目的は何ですか

②例えば高齢者福祉を重点施策に上げずに、教育・子育てに重点をおく理由は何ですか

(2) 子育て支援はどこまで行えばいいのか

①本年第1回定例会において、放課後児童クラブの保育料値下げを議会が認めなかった

ことに対し、市長は「ビジョンがないと言われることは不本意」とのコメントを出されていますが、どのようなビジョンがありますか

②今一度、目的を数値で示すことも織り交ぜながら明確にし、目的達成の為に何をやるべきか、明確にするべきであると考えますがどうですか

③少子化対策としての子育て支援を考えた時に、出生数の目標を定めるべきと考えますがどうですか

(3) 今後の子育て支援について

①市長公約に示された、高校生医療費の助成について、目的は何で、そのことはなぜ必要ですか

6. 11番議員 山田清一 (公明党) 【一問一答】

1 市民の足を確保する新たな地域公共交通について

(1) 半田市の持続可能な地域公共交通の実現について

①半田市地域公共交通網形成計画の策定にあたり、市民はどのように関わってこられたか

②本年10月の運行開始に向けた周知PRは、何をやってこられましたか。また、今後どのように周知PRしていきますか

③市内のバス利用者数は平成28年度一日1,100人。平成34年には目標値として一日2,700人を達成するための具体的な利用促進策はどのように考えていますか

④通勤・通学の定期券の購入は可能ですか

⑤近隣市町との連携は、どのように考えていますか

⑥広域公共交通軸、基幹路線、地区路線A（亀崎・有脇線、青山・成岩線、半田中央線）が運行されない地域のうち地区路線Bの導入については、どのように取り組んでいきますか

⑦今後、地域公共交通への予算の増加が見込まれますが、今後の収入、経費等、予算の予測額はどのようになりますか

⑧新たな地域公共交通に関する課題認識と、その解決策はどのように考えていますか

(2) 地域公共交通の充実と密接に係る高齢者の運転免許証の自主返納について

①運転免許証の自主返納状況はどうとらえていますか

②運転免許証自主返納を推奨する公共交通利用の特典は何を考えていますか

2 企業誘致について

(1) 企業立地の取り組みについて

①平成34年完成予定とされる工業団地の推進状況はどうですか

②半田市へ進出したい企業、又は事業拡大のため土地や物件を探している企業への支援は、何をしていますか

③半田市への進出、又は市内移転等の情報提供および支援体制の充実が必要だと考えるが、どうですか

6月20日(水)午後1時00分～

7. 3番議員 山本佳代子(無所属) 【一問一答】

1 被災者生活再建支援事業制度について

(1) 愛知県が新たな被災者生活再建支援事業費補助金制度を設けたことについて

①半田市は愛知県が制度を作ったことで、要綱をいつまでに作成する予定ですか

2 半田市地域公共交通網形成計画について

(1) 基幹路線と地区路線Aについて

①市民の要望で最も多かった半田病院行きが、半田北部線以外乗り換えねば行けなくなっていますが、乗り換えが必要な地域に住んでいる人たちにとって対策はありますか

②半田中央線の岩滑方面への延長で、この地域の足の確保がはかられるのではないですか

(2) 関係者が連携、協働し公共交通を支え育む仕組みの構築について

①地域が関係者と連携、協働した取り組みの件数を年間5件の目標とした根拠は何ですか

②地区路線Bをとりかかるとあたり、地域が主体となる為のマニュアルが必要ではないですか

③地区路線Bにタクシーを活用する考えはありますか

8. 15番議員 加藤美幸(無所属) 【一問一答】

1 半田市における喫煙のあり方と健康なまちづくりについて

(1) 望まぬ受動喫煙等の影響について

①喫煙による健康へのリスクをどう考えますか

②受動喫煙のリスクをどう考えますか

(2) 喫煙と健康の教育や啓発について

①受動喫煙防止の取組と今後の方向性について、特にこれから子どもをもうけようとする夫婦や、妊娠中、現在子育て中の家庭への禁煙や受動喫煙防止の啓発や未成年者へのタバコと健康に関する教育についてどう考えますか

(3) 禁煙したい人へのサポート事業について

①禁煙したい人への相談や禁煙サポートをどう取組んでいきますか

②健康はんだ21計画の見直しで喫煙に関する課題と今後の取組みはどのようなようですか

(4) 喫煙マナーについて

①他者へ影響を与えない喫煙マナーの啓発や公共施設、祭りやイベント等における喫煙所のあり方についてどのように考えていますか

(5) 条例の制定について

①受動喫煙防止や喫煙マナーに関する条例の制定を望む市民の声に対し、どう考えますか

9. 13番議員 山本半治 (公明党) 【一問一答】

1 胃がんリスクの軽減について

(1) 中学生からのピロリ菌検査の実施について

- ①ピロリ菌研究の第一人者、現北海道医療大学学長の浅香正博先生が、第23回日本癌学会市民講座の講演の中で、「10歳代のうちにピロリ菌検査を受ける提案」をされていますが、この提案をどの様に受け止めますか
- ②本年度より実施される、子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額措置見直しにより生じた財源を活用して、中学生に無料でピロリ菌検査を実施することで、中学生へのがん教育の促進と将来への医療費抑制が期待できると考えます。早期実現を求めます

2 祖父母世代の子育て支援について

(1) 祖父母世代の孫育てについて

- ①育児方法が大きく変化している中で、祖父母世代への孫育てについてのサポート事業をどの様に行っていますか
- ②3世代同居家族は何世帯いますか
- ③孫育てを応援する「祖父母手帳」を作成し更なる子育て支援の充実を求めます

(2) 祖父母世代の地域での子育て支援について

- ①地域の中で祖父母世代と子育て世代と関わりを深め、地域の子育て力、地域力を高めるための対策を求めます

6月21日(木) 午前9時30分～

10. 17番議員 中村宗雄 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 半田病院移転に伴うインフラ整備について

(1) 新病院の建設用地と現病院用地の利用について

- ①平成30年3月19日に榊原市長は新病院の建設場所を半田運動公園とし、当初計画の4年遅れの2025年5月開院、総事業費は約310億円と表明されました。ところが、それ以降3ヶ月が経過する中で、それ以上の情報が全く発表されること無く、多くの市民から不安と不満の声が聞こえてきています。そもそも新半田病院の移転先は具体的に半田運動公園のどこの位置になるのかをお尋ねします
- ②都市基幹公園としてスポーツ、レクリエーションの拠点として整備された半田運動公園に新半田病院を建設した場合に、半田運動公園の何らかの施設や防災としての機能が失われる事になると思いますが、その代替施設の整備や防災機能について如何お考えかをお尋ねします
- ③過去の職員駐車場を建設候補地としていた時点では、現半田病院の病棟を回復期の療養病棟として再利用する可能性を示されておりましたが、建設場所が半田運動公園に変わり、7年後の新半田病院への移転後の現半田病院の病棟等の施設や跡地の利用について如何お考えかをお尋ねします

(2) 半田運動公園に新半田病院を建設する事により必要となるインフラ整備について

- ①多くの市民が新半田病院への交通アクセスに不安を感じております。なかでも有脇、

亀崎地区など半田市北東部からの交通アクセスに必要不可欠である都市計画道路「環状線」の開通は新聞記事のとおり新半田病院開院時期の2025年まで本当に開通は困難な状況なのでしょうか。なぜ、今から7年もの時間があるのに開通が困難なのかを具体的な理由について市長としてのお考えをお尋ねします

②新病院開院までに環状線が整備できない事の対応策として名鉄半田口駅南附近の岩滑中町交差点の拡幅工事を行うとの新聞記事もありました。榊原市長は半田市北東部からの交通アクセスの問題を岩滑中町の交差点拡幅工事で課題が解決するとお考えかどうかをお尋ねします

③半田市中心部からの新半田病院への交通アクセスを考えた場合、住吉駅南の国道247号と環状線の終町5丁目の交差点を更に西に進んだ松堀町交差点から半田運動公園への東西の道路整備が必要と考えますが、半田市として如何なお考えをお尋ねします

④新病院候補地検討委員会の報告書によれば、半田運動公園を新半田病院の建設場所として適切な理由の一つに、「広域救急対応の図りやすさ」がありますが、脆弱な交通アクセスの補完の意味も含めて、スマートインター等を利用した知多半島道路と新半田病院との接続については如何なお考えをお尋ねします

⑤新病院建設候補地検討委員会の報告書によれば、専門家からの意見として、「活断層を軽視せず、対応に万全を期すべきである」と厳しく文言で書かれていますが、この専門家からの意見への対応について榊原市長は如何なお考えをお答えください